

【1】科学の甲子園ジュニア全国大会の結果について

【2】JSEC2024（第 22 回高校生・高専生科学技術チャレンジ）最終審査結果について

【3】第 68 回日本学生科学賞の入賞作品の決定について

【1】科学の甲子園ジュニア全国大会の結果について

11月24日(月・祝)に千葉大学が強化トレーニングを実施した市川学園市川中学校は、12月12日(金)から12月14日(日)までの日程で開催された「第13回科学の甲子園ジュニア全国大会」(開催場所:兵庫県立武道館)に千葉県代表チームとして出場しました。筆記競技、実技競技2種目の得点を合計した総合成績により、千葉県代表チームが優勝しました。

大会結果の詳細等は下記の URL をご参照ください。

https://koushien.jst.go.jp/koushien-Jr/files/r07_result.pdf

<https://koushien.jst.go.jp/koushien-Jr/#info251214>

【2】JSEC2025（第 23 回高校生・高専生科学技術チャレンジ）最終審査結果について

JSEC2025 の最終審査会が令和7年12月13日(土)・14日(日)に開催されました。千葉県からは千葉県立佐倉高等学校の個人研究が優秀賞を受賞し、千葉県立佐倉高等学校の別の個人研究が入選しました。詳細は右記の URL をご参照ください。

<https://manabu.asahi.com/jsec/2025/award/index.html>

【3】第 69 回日本学生科学賞の入賞作品の決定について

第 69 回日本学生科学賞の受賞作品が決定し、令和7年12月19日(金)の中央表彰式で発表されました。入賞・入選リストは下記の URL をご参照ください。

<https://event.yomiuri.co.jp/jssa/news/files/13>

【編集後記】

新年明けましておめでとうございます。本年も編集後記は駄文満載でお届けいたします。

さて、今の高校生は年末年始といつても家にこもってゲーム三昧だったり、逆に部活で正月などろくに味わえなかったり、と様々であろう。ただ、温故知新の言葉もある。せっかくの正月休みに、ご実家に帰省して、昔ながらの遊びを楽しんだ方もいらっしゃったかもしれない。私が小学生のころに流行った遊びはメンコ、けん玉、ヨーヨー、コマ、ベーゴマ、アメリカンクラッカー等、昔ながらのものもたくさんあったが、中学ではトランプや将棋、高校の頃にはゲームウォッチ、大学の頃にはフ

アミコンや PC ゲーム、及びモノポリーやスコットランドヤードなどのボードゲームが身边にあり、やがて TCG (トレーディングカードゲーム) や電子機器が身近なものになっていった。今でも囲碁や将棋は嗜んでいるが、もっぱらスマホを利用している。ただ、旅先で昔ながらの遊具に触れる機会があると、つい手に取ってしまう。大人になってからも万華鏡やテレイドスコープ (周りの景色を万華鏡のように映し出す道具) を製作したり、立体折り紙に挑戦したりと、何年か毎に昔ながらの遊具に親しんできた。その中でも、もし折り紙に興味がある方がいたらこのサイトは参考になると思う。

「お正月飾りの折り紙 131 選」

https://origaminojikan.com/seasonal-events/new-year#goog_rewarded

季節ごとのテーマに沿って詳しい解説が動画と静止画のそれぞれで解説されている。映像を見ているだけでも癒される。

折り紙といえば、年末面白いニュースがあった。

「自重の 1 万倍に耐える最強の折り紙を作成、14 歳少年が科学賞を受賞」

<https://karapaia.com/archives/570385.html>

これこそが探究であると思う。

折り紙と相性の良い研究課題の 1 つにテセレーションがある。詳しくはこちらから。

<https://www.tessellation.jp/>

こちらもただの遊びではなく、探究に繋がる教材になりうると思う。そこで、テセレーションに興味を持たれた方には、このニュースも。

「日本の会社員が発見、数学界を賑わせた「新図形」とは? 論文も 5 日間で執筆、arXiv にも掲載」

<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2512/22/news034.html>

そして、テセレーションといえばエッシャーの騙し絵。近場でエッシャーの展覧会があるときは必ず足を運んできた。昨年購読した本の中でこちらは特に興味深かったので紹介させていただく。

「エッシャー完全解読 なぜ不可能が可能に見えるのか」著者：近藤滋 みすず書房 刊

著者の近藤先生は医学博士で生命科学者だが、エッシャーについて独自の研究をされており、それをまとめたのがこの著書である。ただ、完全解読とはいっても、まだ解明できていない謎もあるので、その謎が解けた方はぜひ近藤先生にご一報を。なお、この内容の一部はテレビ東京の「新美の巨人たち」で昨年 1 月に放送された。

さて実際はニュースを起点にして折り紙→テセレーション→エッシャーの順に連想して文を書いている。話のつなぎ方が強引だったと思うが、ご容赦を。

最後に。このメールはメーリングリスト登録者に一斉配信しておりますので、このメールへ直接の返信は謹んでご遠慮申し上げます。もしもご意見等ございましたら、下記のメールアドレスにお願いいたします。(金)

koudairenkei@office.chiba-u.jp